

経済学部の四極会寄付講義始まる

4月10日、四極会の寄附講義「会社研究」が始まった。7月24日まで、毎週水曜日の午後、15回の講義が予定されている。

第1回目ということで、初めに副学部長の高見博之教授から本講座の意義、他の科目との関係等について説明があった。学生の成績は、毎回提出するレポートの内容が60%、期末試験の成績が40%で採点される。



今回の講師、佐藤安洋氏は大学32回卒業、金融機関勤務を経て社会保険労務士、産業カウンセラーとして自営の途を選んだ。

講義は、4月1日に施行された改正労働基準法により年次有給休暇のルールが変わったことから説き始めて、社会に出て働くようになると直面する人間関係を中心とした試練に如何に対処すべきか、その心構え、スキルについて進められた。

自分が体験した「怒り」について複数の学生に発言を求め、それを切り口に、怒りのレベル分類、対処法へと講義は進んだ。思考停止、深呼吸、目の前のことへの意識集中、退却等。

結論として強調したのは「実社会では、自分でコントロールできることにエネルギーを注げ」。

